

令和4年度第1回郡山市スポーツ推進審議会 議事録（概要）

1 開催概要

日 時	令和5年2月3日（金）午後1時30分から午後3時30分まで
場 所	郡山市役所西庁舎5階 5-1-1会議室
出 席 者	・委員（10名（11名中）） ・郡山市及び事務局（8名）文化スポーツ部長、スポーツ振興課
公開・非公開	公開
傍 聴 者	なし
議 事	（1）審議事項及びスケジュールについて(審議事項) （2）第3期スポーツ基本計画を踏まえたスポーツの推進について(審議事項) （3）開成山地区体育施設整備事業の進捗について(報告事項) （4）その他

2 議事内容

（1）議題1 審議事項及びスケジュールについて

【事務局】

- ・本審議会で今期、検討していく審議事項について、国の第3期スポーツ基本計画の新たな視点を踏まえた、本市のスポーツ推進施策における課題等について検討していくことを提案。
- ・今回の審議会のスケジュールについては、審議会を4回開催予定とし、課題抽出、意見交換、提言書（案）の作成・確認を行い、最終的に市へ提言書を提出することを提案。

【意見・質疑等】

異議なし。

【事務局】

会議の公開・非公開について、不開示情報（市情報公開条例第7条）の審議等を行うときや公開することにより審議に著しい支障が生じる場合を除き、原則公開となるが、今期の審議事項については、非公開の基準に該当しないと考えられるため、公開としてよいか。

【意見・質疑等】

異議なし。

（2）議題2 第3期スポーツ基本計画を踏まえたスポーツの推進について

【事務局】

国のスポーツ施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画であるスポーツ基本計画について、その趣旨を説明した上で、第3期スポーツ基本計画を踏まえて進めていくこととしている本市のスポーツ施策の概要を説明し、御意見を伺った。

- ・スポーツ基本計画は、現在、第3期（2022-26年度）で、第2期（2017-21年度）の総括的評価を踏まえ、新たな視点が盛り込まれている。
- ・第3期（2022-26年度）計画の概要を説明。

①第2期より引き続きのスポーツを「する・みる・ささえる」多様な参画の推進と、さらに、スポーツの価値を高めるための新たな3つの視点「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」が加わり、変化に応じた柔軟な手法、多様性、誰もが

参画できる社会の実現等が重視される。

②東京 2020 大会のスポーツ・レガシー（多様な主体の参画、ノウハウ・ネットワークの活用、スポーツへの関心高まりを活かした地方創生等）の継承・発展も重点施策とする。

・第3期スポーツ基本計画を踏まえた本市のスポーツ推進について審議。

・本市のスポーツ施策を「する・みる・ささえる」「新たな3つの視点」の各視点に基づき整理した上で一覧化した資料（以下、「市施策一覧」という）を提示し、国の基本計画の方針や目標を踏まえ、これらの施策を展開することについて、御意見を伺った。

【意見・質疑等】

委員 市で、スポーツ単独の計画はあるか。

事務局 市教育委員会の「教育振興基本計画」のスポーツ分野の中に計画を定めている。第3期スポーツ基本計画に伴う単独の計画はない。

委員 大きな市なので、スポーツ単独の計画は作ったほうが良いと思う。

委員 （配布資料）市施策一覧は、スポーツ振興課の施策のみまとめたものなのか。市の他部局でもスポーツ関連の取り組みがあると思うが。

事務局 スポーツ振興課の施策のみとなっている。

委員 他部局のスポーツ関連施策も含めて市の施策を横断的にまとめたほうが良い。

委員 市施策一覧の中には、高齢者に特化した施策が見当たらなかった。

事務局 スポーツ振興課の「市民スポーツ教室」には中高齢者向けのスポーツ教室が含まれている。なお、他にも健康長寿課等、保健福祉部での健康増進のための取組等もある。

委員 市施策一覧の中の、多様な参画「ささえる」に該当する施策は、スポーツ団体への支援の内容が多い。ボランティアでスポーツを支える個人的な活動の楽しさという切り口のものも入れたほうが良いと思う。

議長 事務局として力を入れてやっていきたい内容はあるか。

事務局 国の計画で、共生社会や多様性の推進という方針のある中で、重点施策であるスポーツ・レガシーの継承については、新しい取組と認識している。市のオリパラレガシー継承事業は、東京オリンピック・パラリンピックを契機としてスタートした事業で、その中でパラスポーツの普及という事業もある。そういった所から新しい、多様な参画の手法の創出を進めていけたらと考えている。

議長 事務局として力を入れたい点と、委員から意見・課題が挙げられたが、これらについて、事務局で整理した上で、次回、検討していくということで良いか。

委員 異議なし。

事務局 オリパラレガシー事業について、もう少し詳しく次回の会議で検討させて頂きたい。

- 議長 その他に質問・意見はあるか。
- 委員 部活動の地域・民間への移行は全国的な課題。家庭の費用負担が、部活動であれば保険と用具代等で済むものが、スポーツクラブでは月謝を頂いて運営せざるを得ない。市から補助金等があれば、家庭の負担を抑えながら、民間に任せていくモデルになるのではないか。市としてそういう方向性等の考えがあるか。
- 事務局 市教育委員会の「部活動等のあり方検討会」で部活動の地域移行の在り方のスキームづくりを進行しており、その経過を見ながら、こちらにフィードバックすることを考えている。
- 議長 市中学校体育連盟の現場ではどうか。
- 委員 当初、国からは2023年度から3年間で集中的に移行を進めるようアナウンスがあり、(中体連) 経済的支援を必要とする家庭への国からの支援の内容も含まれているが、現実的には地域によってできない所があり、現在は、可能な限り早期に移行という内容に変わっている。費用や交通手段・送迎の問題等で子どもをクラブチームに通わせることが難しい、受け皿となるクラブチームがどれだけあるのか等の課題がある。

(3) 議題3 開成山体育施設整備事業の進捗について(報告)

【事務局】

- ・開成山地区体育施設(宝来屋郡山総合体育館、郡山ヒロセ陸上競技場、補助陸上競技場、ヨーク開成山スタジアム、開成山弓道場)を外構も含め面的にPFI事業で整備する。なお、開成山公園 Park-PFI事業も時期を同じくしており、収益施設等も含め魅力ある公園に整備する。
- ・事業概要説明。
 - ・ほとんどの施設が築40年以上で長寿命化の必要があり、今回、民間活力導入し整備。
 - ・整備方針の説明(全ての市民がスポーツに親しむ、各種スポーツやプロスポーツ・大規模大会が開催される市のスポーツ拠点の形成)
 - ・各施設の主な整備内容説明
- ・事業者選定の結果、ゼビオコーポレート(株)を中心としたグループに決定したことを説明。
- ・整備スケジュール(予定)の説明。令和4年度3月議会で承認を頂き、契約締結する予定。2023-24年度の2か年で整備。2025年度からの供用開始としているが、複数施設があるので、整備が完了した施設から供用開始していく。詳しいスケジュールは後日公表。
- ・整備後イメージパースの紹介等。

【意見・質疑等】

- 委員 陸上競技場の公認はどうなるのか。
- 事務局 陸上競技場はもともと第三種公認だが、引き続き第三種公認を取得する。
- 委員 東京都で、障がい者や高齢者、誰もが利用しやすい体育施設の利用促進マニュアルを作成中だが、それを参考に多様な方が利用しやすい施設にしてほしい。障がい等の特性にも配慮した観戦スペースの設置、男女及び多目的トイレの車いす対応等。
- 事務局 東京都のマニュアルは確認したい。今回の整備にあたっては、スポーツ大会運営役員の方にヒアリングをさせて頂き、その御意見を踏まえて、施設整備の要求水準にスロープの設置等も盛り込む等している。福祉対応についてはできるだけ対応したい。

委員 ファイヤーボンズの集客力はすごい。郡山市をホームタウンとするプロスポーツチームが複数あるが、選手が力を発揮するために応援はとても大事。スポーツをやる側も見る側も盛り上がるような整備・運用にしてほしい。例えば試合の日に施設をチームカラー一色で演出する等。アップコートの整備等も必要。プロスポーツを支援する相応の環境を整えて頂きたい。

委員 大会の会場選定にあたっては、駅から歩ける距離で、駐車台数が多いことが重要だが、開成山は駅から遠いイメージで、駐車場の台数も心配がある。大規模大会は、地域において宿泊や観光等、地域振興の役割を相当果たすと思うので、そういったイベントが呼べるよう駐車場は多いほうが良い。

(4) 議題4 その他

【意見・質疑等】

特になし。